

## 附属図書館利用オリエンテーションを開催

今年もたくさんの新入生をキャンパスに迎え、附属図書館では、オリエンテーションを開催しました。

### (第一部) 附属図書館の利用案内

- ・4月12日(水)～14日(金)の3日間
- ・12:10～12:50と15:00～15:40の2回ずつ
- ・附属図書館3階 AVホール
- ・図書館案内ビデオの放映と利用方法の説明
- ・参加者数:549名
- ・アンケート回答数:342名

### (第二部) OPAC / TSS の説明と実習

- ・4月18日(火)～20日(木)の3日間
- ・12:10～12:40と15:00～15:30の2回ずつ
- ・附属図書館1階 カウンター前



OPAC 講習会

- ・参加者数:475名

今年度のオリエンテーションは、第一部・第二部とも過去3年間の開催の中で最も多くの方に参加していただきました。これは、第一部の日程を利用証の交付と同時に行ったこと、その1回目の開催時間を授業のないお昼休みにしたこと、第二部もこれまでの1日1回から2回に増やしたこと等によるものと思われます。

参加していただいたのは、新入生がほとんどでしたが、他に院生や2回生以上の方やその他の方も参加しておられました。これまでに図書館を使った経験のある方もあり、アンケートでは、以下のような図書館に対するご意見やご要望をいただきました。

- ・開架図書を増やしてほしい
- ・学部生でも書庫に入れてほしい
- ・貸出冊数を増やしてほしい
- ・小説類をもっと多く
- ・旧分類と新分類を統一してほしい
- ・カード目録のOPAC化
- ・プリントを自由に
- ・自転車置き場を何とかしてほしい
- ・他大学図書館を自由に利用出来るように
- ・語学テープ等を貸し出してほしい
- ・個室ブースをふやしてほしい
- ・コピー料金を1枚10円に

さらに、今年4月から行っている全館禁煙についての賛同もいただいています。

第二部については、今年4月より図書館内のOPACシステムを一部変更したところでもあり、新入生以外の方で参加された方も多かったようです。3日間6回の開催で、今年は昨年の方の2.5倍もの方が参加されました。講習の内容は、OPACの検索範囲・カード目録との関係等の概要を説明した後、カウンター前の8台の端末を使って、職員による使用方法の説明を聞きながら、参加者が実際に例題を検索し、実習補助者が横から口添えして指導していく方法で行いました。始めはタイトルキーワードで絞り込み検索をかけていく例、次に雑誌名から、著者名からそれぞれ検索していく例を出して実習してもらいました。日本語入力の方法等で初心者にわかりにくい点も、パネルや補助者の説明で実際にキーボードをさわってみて理解を早めるのに役立ったかと思います。ただ、多くの参加者の中で一部の方しか実際に端末をさわって演習していただけなかったのは、機器数の制限上やむをえなかったこととはいえ、次回からは何らかの改善方法を考えていきたい課題です。

今後、アンケートにいただいたご意見を参考にして、より多くの方に親しみやすい図書館へのアプローチとなれるように、オリエンテーションの開催方法・時期・内容等を工夫していきたいと考えています。